

京都リサーチパークへ「ナブテスコ デジタル・エンジニアリングセンター」を移転

金属系 3D プリンター導入により、製品開発プロセス革新へ

ナブテスコ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小谷和朗）は製品開発プロセス革新を加速するため、2015年7月1日に「ナブテスコ デジタル・エンジニアリングセンター（NDEC）」を京都リサーチパーク（京都府京都市下京区）内に移転しました。

今回の新ラボラトリーは2013年11月1日に神戸工場（兵庫県神戸市）内に開設したNDECを京都に移転し、更に発展させたものです。

グループ会社であるシーメット株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：上野高邦）の光造型ラピッド・プロトタイプング装置である樹脂系3Dプリンターによる試作製品の形状・イメージ確認、営業活用に加え、金属積層造形による実製品プロトタイプの成型により開発初期段階にて基本的な強度・機能の確認も可能な金属系3Dプリンターを導入しました。

この装置の導入により、開発設計プロセスにおけるCAM（Computer Aided Manufacturing、コンピュータ支援製造）、樹脂による製品の原理試作、金属による量産設計前試作までの開発期間を大幅に短縮できる最先端インフラが整いました。

今後は3Dプリンターの特徴を生かした製品開発、そして3Dプリンター自体を使ったものづくり（Additive Manufacturing）技術の獲得に注力し、関連基盤技術である材料開発にもエンジニアリングリソースを投入してゆく予定です。

また、学際的都市である京都に拠点を持つことにより、地場の企業・大学との「社外連携」・「大学連携」をオープン・イノベーション方式の活用により促進・実現し、新商品・新事業の創出を推進していきます。

以上